

令和4年度 徳島県立男女共同参画総合支援センター運営委員会議事録

- 1 日 時 令和4年6月22日(水)13:00～14:00
- 2 場 所 ときわプラザ 学習室
- 3 出席者
委 員 藍原理津子, 阿部頼孝, 大寺禮子, 佐藤かおる, 中 央子, 山田 憲
事務局 男女共同参画総合支援センター所長, 男女参画・人権課長ほか

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 議題
 - 1) 事業実施状況について
令和3年度事業実績, 令和4年度事業計画
 - 2) その他

【事務局から資料等の説明】

【質疑概要】

委員長 今, 令和3年度の実績と4年度の事業計画の説明がありましたが, ご意見がございましたらどうぞ。

委員 県の他施設でオンライン講座を実施したときに, 1時間程度で通信不能となるなど思うように使えなかった。資料1(5)にWi-Fi環境の整備とあるが, 学習室のWi-Fi環境はどうか。

事務局 資料にあるWi-Fi環境の整備は, 施設内の廊下等に公共用のものとして整備を行ったものです。ときわホールや学習室内においては, 室内まで有線で引き込んだ回線を使用しており, 時間的な制約はありません。また, 学習室内においては感度の高いルーターも常備するなど, Wi-Fi環境の整備を行っております。ZOOMのアカウント等は使用者側で用意いただくことになります。

委員 コロナ禍のなか, 令和3年度も多くの事業をしており素晴らしいと思う。相談室で受ける相談内容について, コロナ禍において具体的にどのように変化しているのか伺いたい。

事務局 コロナの感染拡大が落ち着くと, 相談件数も落ち着くという傾向が見られます。心の悩みを抱え継続的に利用している方が多いですが, コロナで何か新しい困りごとが出てきたというよりも, コロナにより不安感が強くなったために日頃の悩みが大きくなる, ということが見受けられます。

委員 若い女性などの間ではインスタグラムが流行しており、SNSは素材の選定が難しい面もあるが、当センターの広報についても、インスタグラムを活用したらどうか。

事務局 フェイスブックは既に使用していますが、対象者の年齢層が高いとの話もあります。集客に苦勞している点から、SNSをうまく活用したい考えはありますが、どのようなSNSがよいかや、使いこなせるのかという問題もあります。また、インスタグラムは写真中心であるために当センターの情報発信ツールとしてふさわしいかどうか、また頻繁に投稿をするためにどう使いこなすか、といった課題もあります。今後の検討課題とさせていただきます。

委員 説明を聞いていて出前講座とか、参加された皆様からよかったという回答が多いということで、素晴らしいと伺った。資料2ページ下の創業相談と子育て相談については、令和2年度までは受けていなかったということでよいか。また、令和3年度も2千件を超える相談を行っているが、資料1ページに、相談員が1名欠員中とある。これは、退職後に応募がなかったからか、予約制が多いので相談体制には支障はないのか、その辺りを伺いたい。

事務局 出前講座は、その場に行って、なかなか会場に出向いてくれない方に、直接出向いてさまざまな課題について学んでいただくことは、とても有効なことと考えております。現状は体制が十分ではない点もありますが、今後は講座数も増やしていけたらと考えております。創業相談と子育て相談は、リニューアルオープンにあわせて令和3年度から始めたものです。創業相談は、とくしま産業振興機構と花咲かねーさん企業組合の御協力を得て実施しています。子育て相談は、子ども室の運営受託者である勤労者福祉ネットワークに受けていただいています。予約制でまだ件数が多いですが、今後増やしていければと思っております。相談員の1名減につきましては、3月末で家庭の事情により退職者が出たところ、応募者がなく補充ができていない状況です。次世代育成・青少年課が雇用している職員と合わせて3名で2回線分を対応しており、相談員1人当たりの対応時間は長くなりますが、なんとか対応できている状況で、今後補充していきたいと考えております。

委員 コロナ禍でたくさんの事業を行い、またこの運営委員会の意見を受けてちょっとずつでもよい方向に改革に取り組んでいるという感想である。企画委託事業について、人とのつながりやエンパワーメントなど個人の力を引き出していく取り組みをしており、継続して社会情勢を見ながらそれにあったものを企画してもらいたいと思いました。一つ目の質問として、出前講座を増やしていくという話があったが、これはデートDV防止セミナーの数を増やすということなのか、新たなテーマで設けるということなのか。二つ目は、資料3ページにある講座の参加意欲向上度について、このアンケート以外に意見聴取しているものはあるか。三つ目は、相談員が相談を受けて、抱え込んだらしんどくなるのではないのか気になるが、各相談ごとに対応する機関があるのかなど、どういう対応をしてい

るのか確認したい。四つ目として、資料7ページの四国4県の交流会の記載があるが、そこで得られたものや、合同で取り組むことなどの話はあったのか。

事務局 企画委託事業は団体の皆様に提案してもらっていますが、県民と直接接していることの多い団体の皆様が感じた課題の提案は大事であると思っており、これからも継続してやっていきたい。出前講座の一つであるデートDV防止セミナーは、中学、高校、大学などの学校を対象に実施しています。今後増やしていきたい出前講座は、一般向けの啓発的なものは聞いてほしいが集まりにくいということがありますので、男女共同参画の課題や女性活躍など、学校だけではなく地域や企業を対象とすることを、今後の課題として増やしていけたらと思っています。参加意欲向上度のアンケートにつきましては、講座で回収したアンケートを元にしてはいますが、それ以外の意識を確認するということで、e モニターの男女参画についてどう変わっているかという調査がありますが、それ以外の個別のことでどんな意識があるのか何か取り組めたらと思っている。今年度から始めているのは、男性の育児休業制度が変わったということで、男性の育児休業取得に関しどう考えますか、というのを4月に映画に来館された方を対象に、シールを貼っていただく形式でアンケートをとってみました。統計学に基づく調査ではありませんが、県民の意識として講座情報の中で紹介したりもしました。シニア世代の方が多かったのですが結果について一つ紹介しますと、全体79名のうち男性の育児休業に賛成が75名、反対が4名でした。賛成の理由は、夫婦で子育てするのは当たり前だから59名いました。当センターに来てくださるシニア層ということにはなりますが、シニア世代でもこれだけ賛成がこれだけ多いという確認をする機会となりましたので、センターでも紹介させていただいたところです。相談事案につきましては、記録して相談員等で共有がなされていますが、相談内容によっては、法律相談を勧めたり他の相談機関を案内したりすることとしています。相談員に対しては、大学教授によるスーパーバイズにおける事例研究や各種研修を受講していただくなどしております。四国4県の交流会につきましては、香川県からの案内で実施したのですが、職員の高齢化や、オンライン講座の実施が難しい、といった話が出ておりました。また、香川県においてはセンターがないため、拠点施設の設置を望む声なども聞かれました。今回は4県合同での取り組みの話には至らず意見交換で終わっていますが、今後そのような話があれば連携していきたいと考えております。

委員 当センターのフレアシネマは非常に評判がよく、観覧希望がたくさんある。親子の講座は幼稚園に、理系女子の講座が今後も続いたら中学校と高校に、チラシの配布などをしようと思う。最近、23歳の女性がSNSで知り合った男性に殺される事件があったが、女子教育が非常に大切な時代になっていると思う。女子中学生や女子高校生向けの講座がたくさんあればいいと思う。

事務局 デートDV防止セミナーは、重要性を認識している学校も多く、毎年継続して受講している学校に加え、新規の応募もあり、重要なテーマになっていると感じています。6月26日にデジタル性暴力対策の講座も企画しています。対面とオンラインのハイブリッドで開催予定で、若年者にもたくさん参加してもらい、実施できればと考えております。

委員長 他に、ぜひ言っておきたいということがあれば、どなたでも。

委員 四国4県交流会に参加した。徳島県女性協議会は40年の歴史があり、女性協議会は全国的にも40年前はたくさんあったが、いまはほぼ残っていないと聞いている。香川県も女性協議会を続けているが、他県がどんなことをしているのか聞きたいとのことだった。四国4県とも取り組みはよく似ていると感じた。互いに他の活動を知りたいということで、毎年続けられたらという話だった。フレアシネマはいつも盛況だし評価している。映画の選定も魅力的で好評だ。まなびーあ徳島のシールをもらって帰る人が従前は多かったが、今年はほとんどいない状況だった。ちなみに、このシールはどういう意味があるのかよく分からないので教えてほしい。

事務局 概要として申しますと、まなびーあ徳島に登録済みの講座を受講しますと、単位認定としてシールを受け取れます。配布されております手帳にこのシールを順番に貼っていき、一定数貯まると奨励賞が授与されます。また、複数の学部が設置されておりますが、当センター実施の講座は男女共同参画学部 zu 属しており、学部内でたくさん受講した場合は学部エキスパートとして認定されるようです。

委員 かなり以前からあるのか。

事務局 まなびーあ徳島（県立総合大学校）は、生涯学習の場として平成20年に開校しております。当センターで実施する講座は、男女共同参画学部 zu 登録され、シールを最初に貼った時点 z 入学と考え、その後シールをどんどん貯めていただき、奨励賞受賞を受講の励みとしていただく、という取り組みになっております。

委員長 全国で女性協議会が消滅しているという話があったが、なかなか難しい話だ。この分野のスーパースターがいて、なんとか活動できている面もある。また、当センターの外部委託事業で活動が保てている部分もあり、官民一体の取り組みが必要である。そういう中で、当センターの果たす役割は大きいものがある。外部委託事業があつて団体がやらなきゃということで、新しい人が入ってきたりという面もある。それから、あいぼーとは指定管理で運営され、県直営の当センターとは性格が違つが、両者が連携していくことも大切なので、課にはご配慮いただきたい。

事務局 本日は大変お忙しい中、さまざまなご意見、ご提案をいただきまして、ありがとうございました。今後も各団体や委員の皆様とも連携しながら運営を進めていきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

委員長 これで運営委員会を終了します。議事の進行に御協力いただきまして、誠にありがとうございました。